

村上ゼミ(1647研究室)

経営学専門演習・地域課題解決研究

《活動目標》

〈3年次〉

・ファイナンスに関する基礎的なテキストの輪読を通じて、**金融・ファイナンスの基礎知識の習得**を目指します。

・金融・ファイナンスに関する文献や資料、新聞記事の読み込み・報告・ゼミメンバーとのディスカッションを通じて、**卒業論文のテーマ決定**を目指します。

〈4年次〉

・自らが設定した研究テーマに基づいて、文献や資料、データ等を収集・整理・分析し、**卒業論文の完成**を目指します。

《活動内容》

〈3年次〉

・金融・ファイナンスの基礎・応用知識の習得

- 各種小論文・プレゼン

コンテストへの参加

- 企業訪問(学外研修)

- 実務家による講義

〈4年次〉

・卒業論文執筆



＜卒業論文発表会の様子＞



＜大阪取引所訪問＞
R5年度



＜南京中華街で実態調査＞
R6年度

《テキスト・参考文献》

ファイナンスで扱うテーマは多岐に渡るため、テキストはゼミのメンバーの関心に基づいて決定します。

R6年度：田内学(2023)『きみのお金は誰のため』東洋経済新報社

R5年度：山田真哉(2014)『問題です。2000円の弁当を3秒で「安い！」と思わせなさい【新装開店版】』小学館

R4年度：モーガン・ハウセル(2021)『サイコロジー・オブ・マネー』ダイヤモンド社

R2-3年度：ロバート・キヨサキ(2013)『改訂版 金持ち父さん貧乏父さん』筑摩書房

《活動内容のキーワード》

パーソナルファイナンス、コーポレートファイナンス、行動ファイナンス、金融教育、資産選択、年金 等

《成績評価》

〈3年次〉報告内容、ディスカッションでの積極性

〈4年次〉卒業論文の完成度

《専門》 ファイナンス

《卒業論文題目例》

卒論テーマは各自、自身の関心に基づいて決めています。

- ・大学生の証券投資の決定要因
- ・若年層の資産形成促進策の検討

～NISAの活用に着目して～

- ・日本におけるキャッシュレス普及の現状と官民の取り組みから考える今後の方向性
- ・投資信託商品の手数料とパフォーマンスの関連性
- ・若年層の投資を促す金融教育とは何か

～行動ファイナンスの理論を用いた考察～

- ・クラウドファンディングを利用した資金調達を成功に導く要因
- ・広島県の転出超過問題から見る地域金融機関の役割
- ・MICEの現状と今後ー広島市に着目してー
- ・Jリーグクラブの効率的な資金活用について
- ・テレワーク導入は日本の労働環境をどう変えるか

《コンテストへの挑戦》

学生の小論文・プレゼンテーションコンテストである「**地方創生☆政策アイデアコンテスト**」や「**日経Stockリーグ**」、「**日銀グランプリ**」、「**せとうちビジネスコンテスト**」等に挑戦しています。



＜執筆したレポート＞



＜執筆した小論文＞

R3年度は
日経Stockリーグ
に参加

R4年度は
日銀グランプリ
に参加

R6年度は地方創生☆政策
アイデアコンテストとせとう
ちビジネスコンテストに参加



＜作成したプレゼン資料＞

R5年度は大学生観光
まちづくりコンテストに参加



＜作成したプレゼン資料＞

広島県の中小企業の現状

最も大きな課題はやはり、**人手不足**である。事業の発展には多くのことが必要だが、人手不足が最大の課題である。人手不足が最大の課題である。人手不足が最大の課題である。



《主な就職先》

東京海上日動火災保険、広島銀行、山口フィナンシャルグループ、第一生命保険、ひろぎん証券、広島信用金庫、呉信用金庫、エフピコ物流、中電工、中国SC開発、ウッドワン、今治造船、広島県信用保証協会、JA広島市、広島県庁、広島市役所、呉市役所、廿日市市役所、広島商工会議所、観音大学(事務)、県立広島大学(事務)、日本赤十字社兵庫県支部等